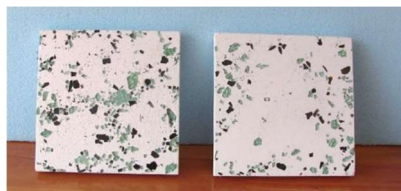


(活動報告書様式)

団体名	特定非営利活動法人 みなと研究会		
事業名	親子で家族で廃棄された車のパーツをリサイクルするワークショップの開催		
助成事業区分	協働助成事業 (テーマ希望型) 【山形県自動車販売店リサイクルセンター 山形から発信! 未来へつなぐ循環型社会づくり支援事業】		
団体の 所在市町村	酒田市	事業費	572,571 円
		うち助成金額	450,000 円



56本のシートベルトを編み込んでハンモック作り



廃棄されたガラスとカキ殻で製造された建築用材

リサイクル品の見学



エアバッグ、シートベルトを  
利活用した救命浮き輪

## ■事業目的

廃棄物として処理されるシートベルトを有効な資源として、子ども達の自由研究学習テーマや素材として活用することを考えました。

使用済みの自動車を資源の有効活用として3Rを軸にした適正処理することは、社会貢献活動の一環として環境保全と循環型社会の構築に繋がり、地球温暖化防止に配慮した社会づくりを推進する活動と考え、提案するものです。

## ■実施内容

☆工業ミシンでシートベルトを加工し、ハンモックの試作品作り。

劣化や長さの確認、洗浄、電気カッターで切断し、10組+予備分の加工。

☆地球温暖化防止に対応したライフスタイルのお話。

環境保全の取組意識啓発を図るワークショップ。

### シートベルトで

#### ハンモック作り出前講座

実施日 1月24日(日)

参加者 5組18人

場所 酒田市総合文化センター 3F 体育室にて



## ■事業の成果・今後の展望

### ①事業の成果

アンケートより

- 循環型社会形成の話、ワークショップでいろんなことを学んだ。
- 共同で作業し、少しずつでき上がっていくのがおもしろかった。
- 子どもたちに物の大切さを

教えていきたい。

※日本製のシートベルトは材質・強度ともに優れているので、バッグ、防災用品として利活用されていることを学習しました。

親子・家族の皆さんで、シートベルトでハンモック作りを楽しく実施できたことで大変喜ばれました。

### ②今後の展望

- 山形県環境学習と連携し他の地域にも発信、呼びかけをしていきます。
- リサイクル商品の展示拡大を考えています。

#### ホームページ

<http://minato.yamagata-npo.net/>

メール [moriya-m@purple.plala.or.jp](mailto:moriya-m@purple.plala.or.jp)